

事務事業名		観光資源調査開発事業			<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 観光資源の発掘と連携					01	07	01	04	04
根拠法令					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) 年度～ <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名	商工港湾部商業観光課			全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
	課長名	鈴木 弘			総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金				
	係名	観光物産係	電話	27-3111			都道府県支出金				
	担当者	佐藤 淳	内線	104			地方債				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					観光産業の早期再建を効果的に推進するため、震災後における観光資源等を洗い出し、まちづくりや観光産業再建につながる地域ブランドの開発をめざす。 ■ 委託の手順(プロポーザル方式) ・ 企画提案の募集、企画提案書の提出、企画提案書審査、業務委託契約締結 ■ 調査の手順 ・ 観光資源洗い出しのためのブランド調査、フィールド調査等の実施 ・ 市民アンケート調査、オンラインワークショップ、オフラインワークショップ ・ 首都圏、宮城県でのアンケート調査 ■ 事業費 委託料						
					総事業費	事業費計(A)	0				
					人件費	正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計(B)	0				
						トータルコスト(A)+(B)	0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
観光資源洗い出しのためのブランド調査やフィールド調査等の実施		ア	大船渡市民郵送調査結果
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	首都圏インターネット調査結果
平成25年度で事業完了		ウ	宮城県インターネット調査結果
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大船渡市民、首都圏(一都三県)住民、宮城県民		名称	
		単位	
		カ	首都圏(一都三県)来訪者数割合
		キ	宮城県民来訪者数割合
		ク	大船渡市民居住意向
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
大船渡市民、首都圏(一都三県)住民、宮城県民の「大船渡市」の資産の認知度を向上させ、訪問者数の増加や商品の購入額を高める。		名称	
		単位	
		サ	市民「大船渡市」資産認知度
		シ	首都圏住民「大船渡市」資産認知度
		ス	宮城県民「大船渡市」資産認知度
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・ 体験してもらう。 ・ 観光メニュー・ルートを開発する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			13,944			
		一般財源	千円			3,486			
		事業費計(A)	千円	0	0	17,430	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			1			
		延べ業務時間	時間			480			
		人件費計(B)	千円	0	0	1,920	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	19,350	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	件		257				
		イ	件		500				
		ウ	件		500				
⑥ 対象指標		カ	%		13.0				
		キ	%		43.2				
		ク	%		62.3				
⑦ 成果指標		サ	%		91.6				
		シ	%		32.9				
		ス	%		43.6				

事務事業ID	1580	事務事業名	観光資源調査開発事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	地域の重要な基幹産業となる観光産業の早期再建を効果的に推進するため、東日本復興交付金の市街地復興効果促進事業として採択されたことにより、平成25年度に実施した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	「大船渡を魅力的なまちにしてゆく」という地域ブランド創出への取り組みに対し、市民から好意的な理解・協力が得られた。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 関連産業の業績が改善し、市民所得の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共性の高い産業の基盤部分を形づくる取り組みであり、公共の関与が妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 観光という裾野の広い産業への取り組みであり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 観光資源の調査に基づき、適切な資源を開発することにより、成果の向上が期待される。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 観光資源の調査から、これに結びつく資源開発事業への橋渡しができなければ、想定する成果の向上が期待できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段, 事務事業) 観光振興ビジョン策定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 観光事業を振興させる事業へ、本事業の調査結果による知見を反映させることにより、地域経済の具現的な振興から、地域ビジョンの確立が促進される。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業の遂行には妥当と考えられるコストである。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業は、調査内容が多岐に渡るため、専任の担当者が相応程度の従事する必要がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域ブランドの確立により、地域のあらゆる産業へ経済効果が波及すると考えられる。

事務事業ID	1580	事務事業名	観光資源調査開発事業
--------	------	-------	------------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>本事業の成果をより有効なものとするためには、今後具現化するための事業への橋渡しを行うことが重要であり、また、関連する観光振興ビジョン策定事業との連携を図ることも必要である。</p>																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 本事業の成果を踏まえた、これに続く事業の実現と関連事業への知見の提供による施策の具現化を図ってゆく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
継続して実施すべき事業が東日本復興交付金の市街地復興効果促進事業として採択されることにより、事業化が促進される。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>適切な事務執行がなされている。</p>																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 平成25年度(単年度)で事業完了したことによる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------